

市民意見募集(パブリックコメント)結果

「和歌山市人口ビジョン(案)」及び「和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」に関するご意見を募集した結果、16件の意見をいただきましたので、次のとおり公表します。

■募集案件の概要

募集案件	和歌山市人口ビジョン(案) 和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)
受付期間	平成27年9月25日～平成27年10月26日
ご意見の件数	9名・16件(うち、内容文面が同じ件数1件)

■ご意見の概要と市の考え方

No	ご意見の概要	市の考え方
1	和歌山市の人口推移のみを分析して、ビジョンを立てているように感じます。日本全体の人口推移を初めに分析する必要があるのではないのでしょうか。日本全体の人口が減少する中、和歌山市の人口を増加させようということは、「他の都道府県・市町村の人口減を加速させてでも、和歌山市へ人口を集める」という流れをつくる必要があると思いますが、それは、目指すべきビジョンとは思えません。人口減を抑える戦略も当然必要でしょうが、日本全体が人口減に向かっているのですから、人口減の時代をきちんと受け入れて、相応しい戦略を練りなおすべきではないのでしょうか。	日本全体の人口分析については、国が策定した『まち・ひと・しごと創生長期ビジョン』において示されており、各地方公共団体はそれを勘案し、当該地方公共団体の人口動向を分析した人口ビジョンを策定することとされています。 本市におきましては、県内他市町から人口が流入し、逆に本市からは大都市圏へ人口が流出している状況であることから、国の掲げる東京への過度の人口集中の是正を実現するため、本市からの人口の流出を抑え、県全体の人口流出に歯止めをかけるとともに、出生率を上昇させることによって、本市の人口減少に歯止めをかけていきたいと考えています。
2	子育てしやすいまちをつくるため、雨の日でも遊べる無料の屋内型公園施設を整備し、駐車場も立体にして、雨に濡れずに施設に入れるようにすることを提案します。公園を統廃合し、少数でも機能する公園を維持してい	本市には和歌山東公園、秋葉山公園、四季の郷公園等をはじめとして子どもたちが遊べる公園は多くありますが、いただいたご提案の公園はありませんので、提案いただいた施設、運営方法等は、今後の公園整備計画の参考とさせ

	<p>く方向に舵を切るべきだと思います。また、施設の駐車場に、移動販売車駐車用のスペースを有償で提供することで、そこからの売上を公園の運営コストに充てることできる。通常のテナントと異なり、アスファルト舗装の駐車場を用意するだけで良いので、特段の設備は必要無く、管理費もほとんどかからない上、供給者が多くなれば、駐車場の区画を書き換えるだけで、簡単にスペースを増減できるので、状況の変化にも対応し易いです。是非ご検討いただけますようお願い致します。</p>	<p>ていただきます。</p>
<p>3</p>	<p>和歌山市への新しい人の流れをつくるため、伏虎中学校跡地に、子供から大人まで、海外の観光客も、ここに行けば一日中遊んで和歌山県の産業の一部を楽しみながら体験できる場所として「地域産業体験型アンテナショップ」を建設する事を提案します。</p> <p>また、この場所には、和歌山県内の各地が、そこを訪れる和歌山市民や観光客に対し、地域の魅力をアピールする場としての機能を持たせ、和歌山市だけでなく、和歌山県全体に人の流れを作るための起点となるような施設になり得ると考えています。これを建設する場所としては、和歌山市最大と言って良い観光資源である和歌山城の脇である、伏虎中学校跡地が最適であると考えます。和歌山城を観光の中心地として、先ず観光客、市内のレジャー客を集める事で、それを対象とした商業を発展させる事ができると思います。</p>	<p>現在の伏虎中学校は、市の中心部に位置し交通の利便性もよく和歌山城にも隣接しているなど、本市のまちなか、ひいては市全体の活性化を図る上で重要な拠点となる箇所であると考えています。本市では、現在、施設設備の老朽化により、耐震改修や建替えの必要性が生じている市民会館の建替え移転、和歌山県立医科大学の薬学部誘致を行うことで、まちなかへ文化活動の拠点を設け、多くの市民が質の高い文化・芸術に触れる空間づくりを行うとともに、大学誘致により、日中に一定規模の学生が常に生活し、若い世代の市内定着や大学の持つ知的資源を活用した産業振興などにも資するものがあると考えています。これら2つの機能を誘致することについて、現在、本市では、「伏虎中学校跡地活用基本構想」の検討を行っているところであり、世論調査等を通じて市民の方々のご意見をお聞きしているところです。</p>
<p>4</p>	<p>現在和歌山市が進めているサイクリングロードにも合致する提案ですが、和歌浦の海岸線沿いに、(できれば)切れ目の無い環状のサイクリングロードを40km整備する事です。</p> <p>この海沿いの40kmには意味があり、トライアスロンの大会を開催するのに必要な</p>	<p>海のサイクリングロードは、和歌山市から新宮市までを繋ぐルートを県と協力し進めています。</p> <p>和歌山市域における海のサイクリングロードは、加太から毛見(マリーナシティ)までの約30kmを予定しており、自転車主体の再整備については、新たな用地取得が必要となるた</p>

	<p>距離です。大会にはある程度起伏やカーブ、直線等、変化があった方が面白いので、和歌浦から雑賀崎の道路を拡幅すると共に、マリーナシティまでの海岸沿いの道路を自転車主体の道路として再整備し、それらを接続する事で、なんとか40km前後の距離は出せるのではないかと考えます。プロのアスリートやアマチュアのサイクリング観光の顧客を集める事で、それに付随した商業も発展すると思われまますので、和歌浦をスポーツと観光の町として再建する足掛かりになるかと思われまます。是非、ご検討いただけますようお願い致します。</p>	<p>め困難であり、現道を利用した整備を考えています。</p>
5	<p>『国際拠点港湾和歌山下津港』を核に、産業・観光の更なる拡充を。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大型巨大コンテナ船着岸、積み降ろし、運搬の体制構築 2) 北部臨海工業地帯の復活、高速道路沿いに先端技術工場の誘致 3) 大型クルーズ船寄港、和歌浦・養翠園観光地と連携し、フィッシャーマンズウォーク・道の駅建設し、集客力の向上 	<p>『国際拠点港湾和歌山下津港』は、和歌山県が管理する港湾であり、現在和歌山下津港湾計画書に基づき、国土交通省及び和歌山県が計画的に整備しているところです。こうしたインフラを活用しながら企業誘致を働きかけるとともに、IC 周辺等についても、物流の効率化や民間投資の誘発など地域経済の活性化や企業の生産性向上に繋がると考えられることから、企業立地を促進していきます。</p> <p>また、「みなとオアシス」への登録を含め、大型クルーズ船の寄港拡充及び道の駅や水軒公園等の整備を検討し、和歌浦や養翠園等を含めた水軒・和歌浦湾エリアの魅力を高めていきます。</p>
6	<p>コンパクト化の名のもとによる地域切捨て政策をやめ、総合的にどの地域でも一定の公共サービス、インフラ（上下水道、電気、道路など）を享受できるようにします。</p>	<p>本市が目指しているコンパクトシティは、中心部だけという考えではなく、それ以外の各地域についても、それぞれの地域ごとに鉄道駅等の公共施設を中心とする地域の生活拠点を定め、生活利便性を高めていくものです。</p>
7	<p>訪問介護を補助する制度として、スマイルボランティア（こばなしや漫談、落語などで笑いを提供できる人材）養成講座を開設し、各家庭に訪問できるようにする。そのために市役所に担当部署を設置します。</p>	<p>本市では、現在市民団体による活動がなされており、市としても支援を行っているところです。また、65歳以上の高齢者の方が、介護ボランティア活動を通じて社会参加、地域貢献を行うことで生きがいや介護予防を目的とした</p>

		つれもてサポート事業を実施しています。
8	小中一貫校による、受験教育の強化をやめ、どの子も成長できる教育の実現を目指します。	小中一貫教育は、教育基本法、学校教育法への義務教育の目的・目標規定の新設や近年の教育内容の量的・質的充実、中1ギャップなどの問題行動や児童生徒の発達早期化などへの対応などを背景に、義務教育全体の質の向上を図るために実施されるものであり、受験教育の強化を目指したものではありません。小学校・中学校の学習指導要領に基づき、基礎基本を徹底し、自ら学び考える力を育てることで、すべての子どもたちが健やかに成長できる教育の実現を目指して取り組まれるものです。
9	伏虎中学、本町小学校、雄湊小学校跡地に、防音設備の整った、NPO・ボランティア団体が利用しやすい施設を創設します。	伏虎小中学校設置に伴う、伏虎中学校、本町小学校、雄湊小学校の跡地の利活用については、全市的な視点からのまちなか市街地の再整備について、検討しているところです。
10	基本目標Ⅲ“若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる”とあります。市役所では、正規職員募集に年齢制限がありますが、正規職員採用に、民間では廃止しているような年齢制限を設けたり、非正規を低賃金に抑えたり、別段アルバイトや非常勤を正規職員に置き換えている様子もありません。まずは市役所から改善すべきであり、自ら範を示すべきではないでしょうか。	<p>正規職員の採用試験に年齢制限を設けていることについては、長期間勤続することで、各職員の職務に必要な能力の開発や向上を図ることや職員の年齢層の均衡を図る観点から、引き続き必要であると考えていますが、任期付職員については、年齢制限を設けず、幅広い募集を行っているところです。</p> <p>非正規職員の正規職員化については、地方公務員法第17条で、「人事委員会を置く地方公共団体においては、職員の採用は、競争試験によるもの」と定められており、広く公開し、公平・公正に競争試験を実施しなければならないとなっています。</p> <p>非正規職員の賃金については、他の自治体の状況等を参考にしながら、これまでも非常勤職員の報酬引き上げに取り組んできました。今後も、引き続き非正規職員の待遇改善に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>今後、若者の安定した雇用を確保し、若い世代の経済的安定を図るためにも、市としても、非正規職員の待遇改善や公平・公正な採用試験</p>

		を引き続き実施していきたいと考えています。
11	<p>基本目標Ⅰ－４－イ及びⅣ－７－アとして、「日本遺産」の認定を目指し国内外にアピールする」とあります。和歌山市内で日本遺産が本当に認定されれば、すばらしいことだと思います。</p> <p>日本遺産への申請は、「歴史文化基本構想」または「歴史的風致維持向上計画」を策定済みの市町村が条件（地域型）です。しかし、今回の総合戦略にはそのいずれも書かれていません。条件が整わないのに、一足飛びに“日本遺産認定に向けて取り組”めるはずはなく、まずは先に「歴史文化基本構想」や「歴史的風致維持向上計画」の策定を主な事業としたうえで、その構想や計画に基づく地域づくりにこそ取り組んでいかなければ、結局、何も始まらないと思います。</p>	<p>日本遺産として申請するストーリーには、単一の市町村内でストーリーが完結する「地域型」と複数の市町村にまたがってストーリーが展開する「シリアル型」の2種類があります。</p> <p>「地域型」の場合は、「歴史文化基本構想」または「歴史的風致維持向上計画」を策定済みの市町村もしくは世界遺産暫定候補案件を有するなどの条件が必要になります。現在、本市は他都市と連携して広く文化財をアピールできる「シリアル型」での申請を検討しています。</p>
12	<p>「和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会」と「和歌浦ベイマラソンwithジャズ」の二つのランニング大会について、市内南部を拠点としたコース取りであるものを、全ての地域の住民が応援観戦しやすい市内中心部をコースとした都市型ランニング大会に再生し、更にはランニングシティとして「ランニングスペシャリストの街」づくりを提案します。</p>	<p>「和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝」と「和歌浦ベイマラソンwithジャズ」の大会は、どちらも市内南部を拠点とし、一部、重複しているコースもあります。</p> <p>まず、「和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会」は、和歌山県が主催しているため、和歌山市でコースを変更することはできず、県に要望する形となりますが、市内中心部にコースを変更する場合に、どうしても交通規制や迂回路の問題があり、警察当局が許可することは、非常に難しいと考えています。</p> <p>また、和歌山市内には、和歌浦以外にも名所は多くありますが、「和歌浦ベイマラソンwithジャズ」の特色は、風光明媚な和歌の浦をジャズの音色を聞きながら走れるという点が、全国のマラソンファンに認められ、毎年、多くの参加者が集う市内最大のスポーツイベントであり、和歌山市内からも、約4割の方々が参加しています。</p>
13	伏虎中学校跡地に、和歌山県立医科大学薬	大学をまちなかに立地させることにより、日

	<p>学部新設をぜひ進めていただきたい。</p> <p>(和歌山市はもともと化学で発展してきた町で、就職先の基盤はあると思うので、大学進学を契機に他府県から若者を集め、そのまま就職してもらえれば、人口が増えることに加え、ぶらくり丁への人の流れの増加や、商店街の活発化の一因にもなるなど、あらゆる可能性が広がると思うので、ぜひ進めていただきたい。)</p>	<p>中に一定規模の学生たちが常に生活することとなり、まちに活気をもたらせることや、若い世代の市内定着や大学の持つ知的資源を活用した産業振興などにも資するものと期待される場所であり、本市では、和歌山県立医科大学「薬学部」の誘致に向け、現在、県と協議を行っているところです。</p>
14	<p>南海和歌山市駅に図書館を作ることですが、図書館だけでなく市民会館も併設してほしい。</p> <p>(市民会館を新設するなら、駅から近い場所が使いやすく、他府県では駅から直結した市民会館があると聞きました。駅から直結した場所は、お客さん側からも会場を使う側からもアクセスがいいと思います。南海和歌山市駅は終着駅のため、機材や道具を慌てずにゆっくりと運び出せるという強みがあり、かつ関西空港から電車やバスで行けるというメリットもあります。基本は和歌山市民のための市民会館ですが、アクセスの良さで人を呼び込んだりできれば和歌山市の経済が潤いますし、更なる和歌山市の発展となると思います。)</p>	<p>市民会館の移転については、現在、伏虎中学校跡地を候補地の一つとして検討しています。駅に近接するという魅力もありますが、伏虎中学校跡地は、本市の中心市街地に位置し、本市の歴史的、文化的シンボルである和歌山城に近く、また、交通の利便性も高いことから、お城の見えるホールとして、負けない魅力があると考えます。</p> <p>ご意見のように、アクセスの良さで人を呼び込むという視点は大変重要であると認識しており、現在策定作業中の「基本構想」においても、駐車場の整備等、交通の利便性を高めることについて、重点をおいて検討しているところです。</p> <p>新しい市民会館は本市の文化活動の中核であり、市民の皆様が質の高い文化・芸術に触れることができるとともに、日頃の活動成果を遺憾なく発表できる場として、多くの人々が集い、本市の魅力を発信することで、まちの賑わいの創出につなげていくことができるよう、引き続き検討を進めてまいります。</p>
15	<p>こども医療費を中学校まで無料化してほしい。</p>	<p>市民の方々や議会から多くの署名や要望をいただき、子どもの医療費助成制度は、子育て支援の一環として大変意義のあるものであると考えています。そこで、できるだけ早い時期に小学生以上の通院費の無料化を実施できるよう検討している状況です。</p>